

# おもろ植物園

OMORO BOTANICAL GARDEN

12世紀から17世紀初頭にわたって謳われた沖縄最古の歌謡集「おもろさうし」に登場する22種類の植物を植栽展示しています。

「おもろ」とは、旧称を「ウムイ」つまり「思い」を意味しますが、内的思考の「おもい」というよりも、村落共同体の平和や繁栄を願い、その心情や「思い」を神様に申し上げる、呪術的な言葉であったとも言われています。

一つひとつの植物から、遠い「おもろ時代」の人々と自然の関わり合いを感じてください。



## 園内にある「神木」

沖縄最古の歌謡集「おもろさうし」に登場する植物たち

沖縄では、御嶽などの聖域に植生している神木で、「クバの御嶽」や「クボーン御嶽」と呼ばれています。その葉は昔から生活用品として利用され、水を汲むつるべや扇（うちわ）、漁師がかぶる「クバ笠」に使われてきました。

このクバ（ビロウ）の木は、古事記に「アジマサの木」とあり、大和朝廷では古くから珍重され阿波の国や淡路島にあるアジマサの木が献上品になったとも言われます。



こは・こば・こはお

和名：ビロウ 科名：ヤシ科 方言名/クバ



桑の木は、神木として「シヌグ（豊年祈願の年中行事のひとつ）」の「ウフユミ」の時の弓に、悪神を祓うとのことでその枝を使用します。また、桑の木は太陽神とも関係があり、雷雨の時に沖縄では「クワギヌ下デビル（桑の木の下にいます。どうぞ落ちないでください）」と言います。

くわけ・なです

和名：シマグワ 科名：クワ科 方言名/クワギ、クワ、コンギ、ナンデーシー

“もっと”おきなわ郷土村を楽しもう！



■舞台上演  
「ゆくい処」隣接の舞台では地域の伝統芸能を上演（写真は本部町指定無形民俗文化財「松竹梅鶴亀」）

New

■映像番組

「命の結び目」

ゆくい処とじんぶんBOXでは、アニメーション映像作品を上映、沖縄の昔ながらの風習を鑑賞できます。



New



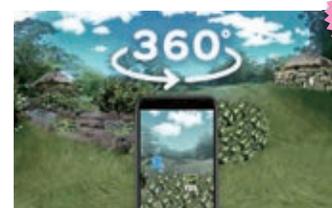
■おきなわ郷土村探検クイズ

お手持ちのスマートフォンを使って、おきなわ郷土村内を探検しながらクイズに挑戦してみよう。



▲クイズ問題はコチラ

New



■じんぶんBOX VR映像

おもろ植物園に隣接する「じんぶんBOX」では、スマートフォンをかざすと沖縄最古の歌謡集「おもろさうし」で詠われた仮想現実（VR）映像をご覧ください。

■開園・開館時間

期間 Period	8:00	8:30	17:30	18:00	18:30	19:00	19:30	20:00	20:30
通常期 Normal 10月～2月 Oct.～Feb.		公園 Park							
夏期 Summer 3月～9月 Mar.～Sep.		公園 Park	おきなわ郷土村 Native Okinawa Village						

※沖縄美ら海水族館及び周辺施設は「閑散期」と「繁忙期」（春休み、GW、夏休み、冬休み）で営業時間が変わります。

休園日/12月第1水曜日とその翌日

お問い合わせ

海洋博公園管理センター  
Ocean Expo Park Management Center

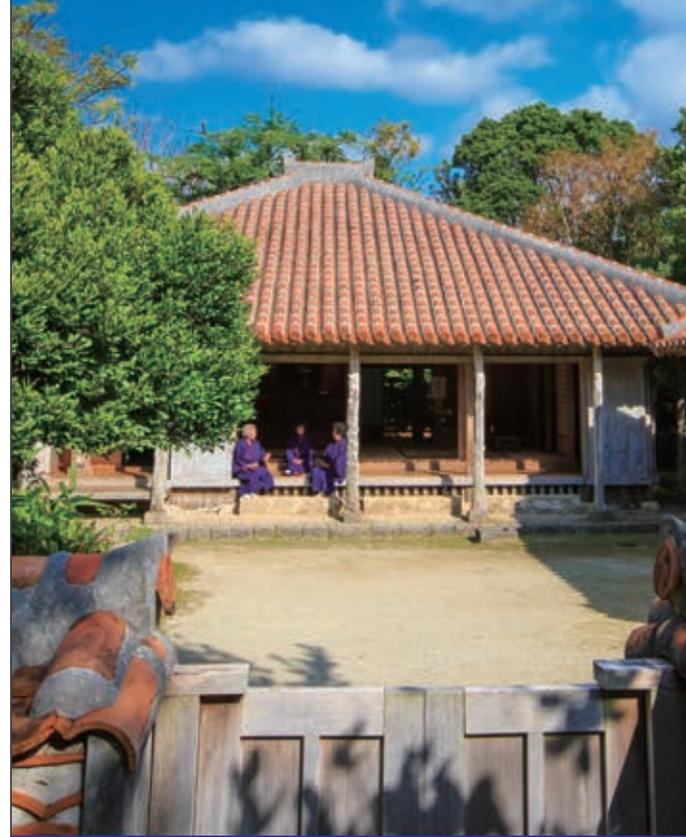
〒905-0206 沖縄県国頭郡本部町字石川424番地

TEL:0980-48-2741 FAX:0980-48-3339

日本語HP:<http://oki-park.jp/kaiyohaku/>

# おきなわ郷土村 NATIVE OKINAWA VILLAGE

おもろ植物園  
OMORO BOTANICAL GARDEN



海洋博公園  
OCEAN EXPO PARK

# おきなわ郷土村

NATIVE OKINAWA VILLAGE

「おきなわ郷土村」では、琉球王国時代の村落の様子を再現しています。昔の人々の心のよりどころとなった御嶽や神アサギなどの拝所、民家、ノロの家や地頭の家、高倉、製糖所（サターヤー）など、当時の人々の生活を考えることができます。



『おもろさうし』に登場する沖縄の在来種(22種)

22種全ての情報は  
植物園  
探検マップで▶



<https://oki-park.jp/sp/kaiyohaku/inst/72>



てし

和名：モモタマナ（コパティシ）  
科名：シクンシ科  
方言名/クファディーサー・クパデーサー・ソーマーギー



いな・しぢやらね

和名：イネ  
科名：イネ科  
方言名/ノニ



こがねげ

和名：ヒラミレモン  
科名：ミカン科  
方言名/クガニー・シークワサー



さくら

和名：ヒカンザクラ  
科名：バラ科  
方言名/サクラ



まう・まお

和名：マオ  
科名：イラクサ科  
方言名/マーウー・プー



まつ

和名：リュウキュウマツ  
科名：マツ科  
方言名/マーチ・マチ



たけ

和名：リュウキュウチク  
科名：イネ科  
方言名/ヤンルダキ・ヤマダキ

New



海人の道【水の階段】  
琉球石灰岩やソテツを配置し、枯山水をモチーフにした庭園。東シナ海を望む新しいフォトスポットです。



ムトウヤ  
本家  
本家は村落の宗家で、根人(ニーチュ)とか根神(ニガミ)という村落の血族団体の祭祀を司祭する人の居住及び祭祀会場にもなります。



ジトウデー ヤー  
地頭代の家  
地頭代は、1611~1897年各間切(まぎり:現代の市町村)の地頭(領主)の代官として、地方行政を担当していた人(現在の市町村長)のことで、その地の百姓の有力者がなりました。地頭代は耕地の分配(地割など)や林野の保護、諸税の徴収、上納等の行政を管理する役目でした。

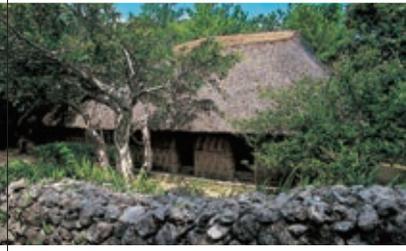
ウガミガー  
拝井泉  
先祖代々続く井泉や溜め池等の水場は「拝井泉(ウガミガー)」といい、水の神様が祀られています。信仰のよりどころであり、生活に欠かせない憩いの場でもありました。



# いにしえの時間が、静かによみがえる。 琉球王国時代の沖縄へタイムスリップ。



ノロの家  
「ノロ」は、村落の神事祭祀を司る神女です。村人の健康と豊作を祈り、豊作に感謝する祭りを司る役目を持っていました。



もとの民家  
本部の民家  
この公園近くに現存した昭和初期の農家をモデルにした、最も古い年代の穴屋形式を伝える建物です。建物は、主屋と台所(トウグワ)の二棟からなり屋根は小丸太組の茅葺です。



「じんぶんBOX」(学べる休憩所)  
「おもろさうし」に詠われた時代の世界観を、沖縄の人々と植物との関りを通して、遊びながら学べる休憩所が出来ます。



馬場(グンジュウニンヌワラビンチャー)  
延長50m級のアスレチック遊具が登場。ボルダリングやつり橋など、色んなアスレチックに挑戦しよう!

New



正面入口の  
ゲート前  
おきなわ郷土村の入口には、旗頭をモチーフにした高さ8mのゲートポールが立ちます。「ていんさぐぬ花」の歌詞に登場するハウセンカと北極星をモチーフにしています。

New



「ゆくい処」と舞台  
琉球王国時代に入り込んだ来訪者を最初に迎える空間。休憩所やおきなわ郷土村のインフォメーション、楽屋機能を備えています。

## 近年の民家

沖縄では1889(明治22)年、屋敷家屋の建造制限が廃止、その後各地の民家でも赤瓦屋根が使用されるようになりました。主屋と台所が一種型になり、強い日差しと雨が入らないように雨端(アマハジ)がとられています。



沖縄の高倉  
高床式で風通しを良く、湿気を防ぐ工夫が施された穀物貯蔵庫。大宜味(おおきみ)村 喜如嘉(きじょか)と名護市字 我部祖河(がぶそか)に現存するものをモデルにしています。



奄美の民家  
奄美の民家は、一般的に主屋と台所(トウグワ)の2棟建てが特徴です。主屋の間取りは前室「オモチ」、後室「ウチ(ウラ)」と2室が前後に並ぶのが基本となっています。鹿児島県大島郡大和村名音にある民家をモデルにしています。

- 案内所
- 電気遊覧車 遊覧ポイント
- エスカレーター
- 喫茶・軽食
- トイレ(障害者用トイレ)
- 売店
- オストメイト
- コインロッカー
- 乳幼児室
- 展望台
- 救護所
- 休憩所
- 貸出センター(車イス・ベビーカー)
- 自動販売機
- 自動体外式除細動器(AED)

その他の家屋や施設の詳細は  
▶郷土村探検マップで